

○議長（高木将君） 次，8番成井小太郎君の発言を許します。

〔8番 成井小太郎君登壇〕

○8番（成井小太郎君） 8番成井小太郎でございます。議長のお許しをいただきましたので，通告順に従い一般質問をいたします。

西山荘周辺の開発について。

地域活性化のために，現在，常陸太田市がやらなくてはならないことの1つに交流人口をふやす，また，入込観光客数をふやす必要があると思います。人が行き来することが地域に活性化をもたらすものと考えます。

常陸太田市は，観光資源，歴史的資源に恵まれた自然豊かな環境を持っているのがこのまちの特徴とも言えると思います。そのような中で，交流人口，入込観光客数の減少が非常に気になります。平成19年の観光客数は，先ほど同僚議員のほうより発表があり重複するところでございますが，竜神大吊橋が21万5,000人余り，そして西山荘におきましては，5万4,000人弱という数字が出ております。この数字は10年前のそれぞれの54%，そして西山荘につきましては26%にまで減少したわけでございます。特に，西山荘は前年比30%減となり，10年前の20万7,000人余りいた観光客がわずか5万4,000人弱と減少したことについては，抜本的な取り組みをする必要があると思われませんが，今までの市の取り組み，その結果はどうだったのか，また，これからの市の考えをお伺いいたします。

2番目として，通学路の安全確保についてお伺いいたします。

安心，安全のまちづくりを掲げてまちづくりをしている常陸太田市ですが，駐在所の整理統合の話が進もうとしている中で，地域の安全，安心はみずから手で守っていかなくてはならないものになってきています。そのような中で，子供たちの通学路に防犯灯の整備がなされていないところが多くあります。以前より，防犯灯の取り付けにつきましては要望が多くあったのではないかと思います，これらの対応についてお伺いいたします。

また，子供を守る110番の家につきましてどのような運用をなされているのか。表示板の更新，指定されている家，また子供たちへの周知はされているのか，そして，このパトロールについて現状どのようになっているのかをお伺いいたします。また，町会長との取り組みについては，どのようになっているのかお伺いいたします。

1回目の質問を以上で終わります。

○議長（高木将君） 答弁を求めます。産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

○産業部長（赤須一夫君） 観光客減少に対する対策についてのご質問にお答えいたします。

議員ご発言のとおり，西山荘への入込客は平成6年度をピークに減少を続けている状況にあります。このころまでは，市の作成するパンフレットや観光情報誌，企業が発行する機関誌，グループが発行する機関誌など，多種多様な情報誌に取り上げられていたことや，時代の要請も加わりまして，入込客は未曾有の傾向にあったところであります。しかし，このころ以降は，財団法人が運営する西山荘から，行政やマスコミ，雑誌社に対しまして，紙面掲載に関して幾つかの制

約が加わりまして、自由に掲載ができない状況になってきたことによることなどが上げられます。

一般の情報誌に掲載される機会が減少してまいりました。加えて年中無休だった西山荘が、平成16年4月から月曜日休荘となり、さらに職員配置の理由などで、平成16年8月からは火曜日の休みも加わり週休2日となりまして、せっかく来ていただいても見るできない状況が生まれてしまいまして、入込客数の減少に拍車をかける結果となったことと推測しているところでございます。

これまで、機会あるごとに、休荘日や情報掲載の見直しについて西山荘側に要請を続けてまいりましたところ、本年4月からは休荘日が月曜日1日となり、情報掲載の制約についても緩和の方向が打ち出されましたので、旅行、行楽関係情報誌の掲載など、今後の展開に期待をしているところでございます。

西山荘では早速この秋の袋田の滝の新観瀑台オープンに合わせ県北地域周遊パンフレットの作成企画に参加するなどPR活動にも動き出したため、明るい兆しが見えてきております。当市としましても、この企画に合わせました来場者への優遇措置を桃源とともに実施し、この機会を活用したPRを実施してまいりたいと考えております。

今後は、より一層積極的に本市を代表する歴史的施設西山荘のPRを進めまして、本市への観光入込客の増加に努めてまいります。

以上でございます。

○議長（高木将君） 教育長。

〔教育長 小林啓徳君登壇〕

○教育長（小林啓徳君） 通学路の安全確保について3点のご質問がございました。まず、1点目の防犯灯の設置についてお答えをいたします。

児童生徒の通学路の防犯灯の設置につきましては、PTA、学校及び地区住民等が町会長を通して市に要望をしているところでございます。各小中学校では、PTAや先生が児童生徒の通学路の危険箇所確認を行い、防犯マップを作成しておりますので、これをもとに精査、検証を行い、早期の整備が必要な箇所については、各小中学校や教育委員会からも防犯灯設置促進の要請をしてまいりたいと思います。

続きまして、子供を守る110番の家についてお答えをいたします。

現在、児童生徒の通学時等の安全確保のため、各小中学校において、子供を守る110番の家を、商店や個々の家庭に依頼し、市内全体で577件が指定されております。各学校におきましては、指定されている家を定期的に訪問し、情報交換や継続的な協力要請を行っております。学校によっては児童を伴って訪問をしているところもございます。110番の家には表示ステッカーを配布し、道路沿いや玄関口等に添付していただき、古くなったステッカーは交換をいただいております。幸いにもこれまで事件等で110番の家が利用されたことはありませんけれども、今後とも各学校から児童生徒へ随時周知するとともに、学校便り等で保護者への周知をしていく考えでございます。

続きまして、3点目の子供パトロールについてお答えをいたします。

地域子供安全ボランティアにつきましては、現在各学校において、保護者や地域の方々 857 名に児童の登下校時の見守りを行っていただいております。具体的な活動内容といたしましては、児童生徒の登下校中の見守り及びあいさつ、声かけ運動の実施、学校周辺及び通学路、公園等の巡回、不審者等の発見時に警察、学校等への連絡、子供を守る 110 番の家との情報交換及び情報提供などであります。自分のできる無理のない範囲で活動していただいております。また、自警団の方々にも同じようにご協力をいただいているところでございます。

さらに、子供の安全確保の 1 つとして、小学生全員に防犯ブザーを配布し携帯をさせております。また、今月から防災行政無線を通じて地域の方々に児童生徒の通学時の見守りを呼びかけております。

こうした保護者、地域の方々のご協力が大きな抑止力となっております、平成 19 年度の市内の小中学生に対する不審者情報は 3 件にとどまっております。今後とも児童生徒の安全確保のために、関係機関と協力連携をして、努力をしてまいりたいというように考えております。

○議長（高木将君） 8 番成井小太郎君。

〔 8 番 成井小太郎君登壇 〕

○ 8 番（成井小太郎君） ただいまはご答弁ありがとうございました。2 回目の質問をさせていただきます。提案を交えた質問という形でさせていただきたいと思います。

現在、西山荘の観光客の減には複数の問題があると思われます。先ほど、部長のほうからございましたが、週 2 日休み、そして、そのほかには入場料の値上げ、そして、国道 293 号から離れているためわかりづらいなどだと思います。西山荘の看板を見てみますと、資金のない中で大変な努力をしているのは伺えますが、常陸太田市の名所としての看板としては、非常に物足りないといったような看板だと思います。常陸太田の住人でしたらば、この西山荘という看板は徳川光圀、水戸黄門の隠居所としてだれもが知っているわけです。しかし、他県からの観光客には西山荘だけではわかりづらいのではないかと思います。今、月曜日、午後 8 時から「水戸黄門」が放映されています。テレビを通じて全国に常陸太田の西山荘が映し出されているわけです。西山荘を訪れる人はこの影響が非常に大きいのではないかと思います。

そこで、まずはわかりやすい道案内板を国道 293 号線からですね、入口の看板、例えば、大きなイラストとか、そういうのを描いたものを置くといったような工夫が必要かと思います。また、この「西山荘」という表示ではなくて、「水戸黄門」という名の案内板がありません。これが不思議だと私は思うんですが、ぜひ、水戸黄門の名で案内板を作成してほしいと思いますが、いかがなものでしょうか。

〔 私語あり 〕

○議長（高木将君） お静かに願います。

○ 8 番（成井小太郎君） 最近、常陸太田市民、または市外から訪れていると思われるウォーキングを楽しんでいる人を多く見かけます。西山荘のほうに向かう姿を見ていると、旧市街地、特に鯨ヶ丘から西山荘がコースになっていると思われます。そこで、西山荘と西山公園、山吹公園を連携する遊歩道の整備をして、茨城森林浴の道百選に選ばれている道でウォーキングをより

楽しんでもらえるようにしてはどうか。また、晏如庵ができて訪れる人が多くなっている不老池を1周することができるよう整備を考えていただきたいと思います。これにより、市民のウォーキングコースにもなり、健康増進を図ることにもつながるものと思います。

また、桃源の池の水ですね、浄化、非常に汚れていまして、何らかの方法を考えていただきたいというふうに思います。

桃源は公益事業団として商工会が経営しておるわけですが、6月には花菖蒲まつり、今度の土曜日から始まりますが、10月はお月見の夕べ、3月には梅まつりなどのイベントも行っていますが、入込観光客が減っている中にもかかわらず、逆に桃源の売り上げはふえているそうです。いかに努力しているかというのが伺えるわけなんです、その中で常陸太田市を代表するブランド品をそろえているということです。それが売り上げ増の原因なのかなというふうに思いました。これはスタッフの努力だと思います。このように常陸太田市をPRする代表的なところでございます。常陸太田市が少し力を入れるだけで、その効果は大きなものと思いますが、いかがなものでしょうか。

次に、通学路の安全確保についてですが、先ほどは、110番の家について利用なしといったような、ほっとするご答弁がございました。本当に安心しました。特に防犯灯についてなんですが、中学生については、クラブ活動で夕方遅くなります。中学生の通学は小学生よりも遠距離になり、人気のないところを通学するコースが多くあります。昼ではわからない夜の道をもう一度見直して、防犯灯設置などの安全確保を早急をお願いし、私の一般質問を終わります。

○議長（高木将君） 答弁を求めます。産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

○産業部長（赤須一夫君） 2回目のご質問にお答えいたします。

ご発言のとおり、西山荘という表示だけでは、光圀公とのかかわりがわからない人も多いのではないかと感じているところでございます。現在におきましては、国道に設置されている看板につきまして、水戸黄門の隠居所西山荘などの文字を表示できるよう検討しているところでございます。なお、手づくりの看板につきましては、早い時点で改善してまいりたいと考えております。

次に、西山周辺のハイキングコースは、読売新聞が募集いたしました全国の歩いてみたい道、遊歩百選にも選ばれるなど、ウォーキングなどには身近で環境のいいところでございます。市といたしましても、歴史の里ハイキングコースのマップをつくっております。さらには、商工会が作成いたしました常陸太田ウォーキングマップの4コースの1つに加えられておりますので、PRに努めますとともに、快適な環境でのコース提供ができるよう努めてまいります。

次に、不老池を周遊するコースの整備につきましては、周辺整備も含めまして、今後研究してまいります。また、桃源の池の浄化につきましては、これまでもフェルト、フィルター、活性炭、曝気、水差しなど、幾つかの方法を試みましたが、よい結果を得ることができませんでした。周辺から流入する水が洪水でありますので、これを浄化するにはどのような方策があるか、今後とも研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

- 議長（高木将君） 本日の一般質問はこの程度にとどめ、残りは明日の本会議で行います。
以上で、本日の議事は議了いたしました。
次回は、明日定刻より本会議を開きます。
本日は、これにて散会いたします。

午後 5 時 0 2 分散会